

# 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



公益財団法人九州経済調査協会  
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

# 令和元年度事業報告について

## 事業報告

定款第5条に基づき、令和元年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 創立70周年記念事業 (1) 事業概要 ①「30年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究 ②九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催 ③ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供 (2) 募金活動の状況
2. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ③幹事会からの提案による自主研究 ⑤その他の事業 ②月報等定期刊行物の発行 ④地域経済情報のデジタル配信 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業
3. 講演会・セミナーの開催 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ③アジア経済講演会 ⑤経済講演会 ②研究報告会 ④調査技法セミナー ⑥地域研究顕彰事業研究発表会 (3) BIZCOLIでのセミナー・イベント ①イブニングセミナー ④サイエンス・カフェ ⑦ビッグデータセミナー ②地域経営セミナー ⑤BIZCOLI倶楽部 ③九州国立博物館応援セミナー ⑥文化アートイベント
4. 経済図書館(BIZCOLI)事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営 (3) スキルアップのための個室空間の提供
5. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会からの事務局受託 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局
6. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載
7. 運営基盤の拡充 (1) 会員数の増加 (2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催 (3) 人材育成の強化

## 1. 創立 70 周年記念事業

### (1) 事業概要

#### ①「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

令和元年 12 月に「30 年後に向けた九州地域発展戦略」を刊行した。12 月に開催した「未来を考えるシンポジウム」をはじめとして、関係各所で総論を中心に報告した。その他、数多くの新聞各紙で報道され、講演依頼、外部寄稿等（計 6 カ所程度）にも積極的に対応した。各論についても、ビズコリトークの一環として計 3 日、1 回当たり 2 名が登壇し 6 章分のセミナーを行った。

また、当該分野の識者を招聘しての未来セミナーを開催し、30 年後の未来に関する情報収集に努めた。10 月には、「社会的インパクト投資が変える未来の世界」について開催した。

#### ②九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

九州・沖縄・山口の各県において「未来を考えるシンポジウム」を開催した。令和元年度は、長崎、福岡、沖縄で開催した。

日時・会場	テーマ・講師	共催・後援機関	参加者数
<b>【長崎】</b> 9 月 26 日 (木) 長崎県庁	次世代モビリティが地域を変える～新幹線開通後の長崎県内の新たなエコシステム構築に向けて <基調講演> 「新たなモビリティサービスが地域を活性化する」 東京大学生産技術研究所 教授 須田義大氏 <パネルディスカッション> 「長崎県内の新たなモビリティシステム構築に向けて」 コーディネーター：日本銀行長崎支店長 下田尚人氏 パネリスト： SB ドライブ(株)代表取締役社長 佐治友基氏 長崎県立大学 国際社会学部長 森田均氏 みなと観光バス(株)代表取締役 松本浩之氏 一般社団法人 EMOBIA 代表理事 浦正勝氏	共催： (株)十八銀行 (株)親和銀行 (株)長崎経済研究所 当会 後援： 長崎県 長崎市 長崎経済同友会	148 人
<b>【福岡】</b> 12 月 16 日 (月) ホテルオークラ 福岡	日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略 <特別講演> 「持続的経済成長に向けた日本の課題」 元公益社団法人経済同友会 代表幹事 元武田薬品工業株式会社 相談役 長谷川閑史氏 <報告> 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」 当会 調査研究部長 片山礼二郎	主催： 当会 後援： 九州地方知事会 (一社)九州経済連合会 九州商工会議所連合会 九州経済同友会 九州経営者協会	294 名
<b>【沖縄】</b> 1 月 31 日 (金) ロワジュールホテル那覇	アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA <基調講演> 「ポテンシャルを發揮してアジアで輝くために」 東京大学 教授 松原宏氏 <パネルディスカッション> コーディネーター：東京大学 教授 松原宏氏 パネリスト： アイペックスグローバルオペレーションズ(株) 代表取締役社長 西山朋宏氏	共催： (株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所 当会 後援： 内閣府沖縄総合事務局 沖縄県	128 人

	㈱リウボウホールディングス 代表取締役会長 糸数剛一氏 ㈱リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役社長 有木真理氏		
--	--	--	--

### ③ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

- 九州地域経済分析プラットフォーム（愛称：DATASALAD／データサラダ）

オープンデータ・ビッグデータを活用した「九州地域経済分析プラットフォーム（愛称：DATASALAD／データサラダ）」を立ち上げた（令和元年11月ベータ版公開、令和2年4月本格稼働）。同プラットフォームでは、①アウトルック、②ビッグデータ、③景気指標、④産業指標、⑤社会指標、⑥経済マップ、⑦経済トレンドという切り口でデータを提供した。

	データの内容等
①アウトルック	都道府県別の主要な景気指標を提供。
②ビッグデータ	宿泊予約サイトのAPI（ソフトウェアの機能を共有する仕組み）を活用した全国の宿泊プランデータや、都道府県別の求人数等について日々収集しているデータを掲載。これらのデータは、新型コロナウイルスの影響に関する政府の閣僚会議資料にも掲載された。
③景気指標	新規・独自のコンテンツである都道府県予測CI（景気動向指数）を軸に、九州経済調査月報において景気分析に用いている月次データ等をデジタルデータで提供。都道府県予測CIに関しては、九州地域（九州・沖縄・山口）に加えて、全国の都道府県を作成しており、九州地域の全国各地との比較やポジショニングの把握ができるようにした。
④産業指標 ⑤社会指標 ⑥経済マップ	産業指標・社会指標に関しては、人口、産業構造、貿易、出入国などの指標を掲載。経済マップに関しては、将来推計人口や将来世帯数などのマーケティング・地域政策の基礎データに加えて、公示地価と都道府県地価調査の地価データを掲載。
⑦経済トレンド	メルマガ配信している「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」をデータベースとして、海外進出や設備投資、新規事業等の個別企業の動きを取りまとめたデータに関して、検索可能な形で提供。

- レベニューマネジメント支援システム

データサラダのために収集した各宿泊施設の予約に係る各種データより、宿泊商品の完売確率システムを開発した。また、より詳細なデータや指標を入手したい事業者に向けて、宿泊事業者と共同研究契約及び秘密保持契約を締結したうえで、キャンセル率や長期（1年程度）に渡る予約曲線等の予測モデルを開発した。

## （2）募金活動の状況

令和元年度末時点の募金活動の状況は次のとおりであった。

- 募金目標額 1億円
- 募集期間 平成28年4月1日～令和2年3月31日
- 依頼先数 125社
- 寄附承諾 107社／1億651万円

## 2. 地域経済研究事業

### (1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

#### ①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。53回目となる令和元年度は、「ベンチャー企業の成長による地域活性化」をテーマに調査執筆し、令和2年2月に発刊した。バブル経済崩壊以降、わが国は「失われた30年」による低迷が続き、新たなビジネス創出が十分ではなかった。新たなビジネスにより市場を開拓するためには、企業の新陳代謝が必要だが、これに貢献すると期待されるのがベンチャー企業である。ベンチャー企業に焦点をあて、九州地域のベンチャー企業と支援サイド（金融機関、産業界、行政等）の実態や特徴、九州地域の強みや課題をとりまとめた。その上で、九州地域における地域活性化につながるベンチャー企業のあり方と、そのために必要な支援策・取組みについて提案した。

なお、2月5日の福岡会場より、九州・沖縄・山口12会場で白書説明会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、説明会は2月21日までの6会場までを実施し、残り6会場での開催は延期とした。

#### ②月報等定期刊行物の発行

##### 1) 九州経済調査月報

上期は、九経調地域研究助成・顕彰事業の表彰作品を5月号に掲載した。空港開発（6月号）や港湾開発（8月号）など、九州における重要なインフラ整備に関する特集のほか、市場の変化が著しい太陽光発電（9月号）の特集を実施した。また、カルチャーコンテンツ（7月号）など、地域の資源を活用した地方創生の取り組みとその成果を分析する地方創生特集（10月号）にも力を入れた。

下期は11月号において、70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD／データサラダ）について、オリジナルなビッグデータである「日次宿泊稼働指数」や「都道府県予測CI（景気動向指数）」を紹介し、1月号では、恒例となった九州の新たな1年を特集した。

発行日	内 容
5月号 4月26日 (金) 発行	<b>特 集 九州の地域研究</b> (Report) 2018年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究 新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性 くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と卸売市場の変化 (One point) 売上が増加する福岡市都心商業地 (連載) 価値創造の源流 (48) (株)佐喜眞義肢

<p>6月号 5月31日 (金) 発行</p>	<p><b>特集 九州の空港開発</b> (Report) 九州の空港開発 2030年訪日外国人6,000万人時代は地方空港から 地方空港の概念を覆す「みやこ下地島空港ターミナル」 プレミアム沖縄創生戦略 (連載) 地域SDGsとスポーツ(4) 大分国際車いすマラソン</p>
<p>7月号 7月1日 (月) 発行</p>	<p><b>特集 カルチャーコンテンツによる地方創生</b> (Report) カルチャーコンテンツによる地方創生 コンテンツツーリズムを楽しむ人々 沖縄県におけるコンテンツツーリズムによる地域振興 長崎発コスプレイベント「キャラめるPOP NAGASAKI 2」の実践 (One point) ビッグデータでみる高級宿泊施設の分布 (連載) 価値創造の源流(49) 株くらて学園 地域SDGsとスポーツ(5) 飯塚国際車いす大会</p>
<p>8月号 7月31日 (水) 発行</p>	<p><b>特集 港湾が繋ぐ九州経済</b> (Report) 港湾が繋ぐ九州経済 「KYUSHU コネクトポート構想」を策定 九州の港湾と内航RORO/フェリーへのモーダルシフト 北部九州港の現状と展望－国際物流の視点から－ PORT2030から今後の九州における港湾空間形成の取り組みを考える (One point) 平成30年間における九州地域の貿易構造の変化 (連載) 価値創造の源流(50) 小原醸造株</p>
<p>9月号 9月2日 (金) 発行</p>	<p><b>特集 太陽光発電市場の新たなステージ</b> (Report) 太陽光発電市場の新たなステージ 日本における太陽光発電産業の現状と将来展望 求められる太陽光発電所のO&amp;Mとセカンダリマーケットの成熟～九州発の O&amp;Mビジネス確立を目指して～ 卒FITがもたらす新天地～プロシューマーの視点から～ (連載) アグリプレナーの実践(21) 先端技術や国際基準を取り入れ、周年安定出荷に取り組む重元園芸</p>
<p>10月号 10月1日 (火) 発行</p>	<p><b>特集 地方創生事業の成果</b> (Report) 地方創生事業の成果 地方創生の実現に求められる地域人材“志民”の育成 地方創生事業の現状と成功要因 九州における地方創生事例 新市場に挑む鹿児島県茶 2019年度九州経済の見通し(改訂)～成長率を下方修正</p>
<p>11月号 10月31日 (木) 発行</p>	<p><b>特集 ビッグデータによる地域経済分析</b> (Report) ビッグデータによる地域経済分析 ～プラットフォームとしてのDATASALADの開発 データ活用仮設量産フレームワークDIVAと主客一体経営 経済統計利活用の課題とDATASALADが目指すもの CI手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性 宿泊施設向けレベニューマネジメント支援システムについて DATASALAD「市区町村別宿泊施設稼働状況」を活用した観光動向分析 地震復興インデックスによる熊本地震の被害と復興状況の把握</p>

12月号 12月2日 (月) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>地域ものづくり企業の生産性向上</b> 地域ものづくり企業の生産性向上 ロボット導入と中小ものづくり現場における生産性向上 製造業の生産性向上をサポートする北部九州のものづくり系 Sler 稼ぐ事業・地域を創るために (One point) 岐路に立つ九州のインバウンド戦略
1月号 12月27日 (金) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>九州の新たな1年</b> 九州の新たな1年 外需持ち直しにより成長率上向く 日次データと機械学習の活用による景気予測 欧米の先を行く企業統治「公益資本主義」 (One point) 駆け込み需要の業態特性と地域特性
2月号 1月31日 (金) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>福岡都市圏の成長力</b> 福岡都市圏の成長力 世界の地方中枢都市としての福岡のグローバルな成長を検証する 福岡都市圏における人口成長点と非成長点 福岡都市圏の未来の交通インフラを考えるシンポジウム (連載) アグリプレナーの実践 (22) 農業スタートアップの集積地を目指すこゆ財団 九州今昔物語 (8) 海運シンポジウム「令和の時代によみがえる北前船」 基調講演「北前船と玄界灘の海運」講演録
3月号 3月2日 (月) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>地域公共交通と MaaS</b> 地域公共交通と MaaS 地域公共交通の「これまで」と「これから」 転換期の地域公共交通と MaaS の可能性 九州における経路検索の状況と九州運輸局の取り組み 次世代モビリティが地域を変える (One point) 日本の二酸化炭素の排出量ほどの程度か
4月号 4月1日 (水) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>オリンピック・パラリンピック後のインバウンド戦略</b> オリンピック・パラリンピック後のインバウンド戦略 東京 2020 退会後の地方のインバウンド戦略 オリンピック・パラリンピック後に向けた九州の観光 九州観光への提案 英国ラグビーワールドカップ in 九州 (One point) 2018年の鉄道ダイヤ見直しが沿線住民に与えた影響 新型コロナウイルス感染拡大による宿泊施設への影響

## 2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、九州経済調査月報付録として1年に4回発行している。9月号と3月号では、それぞれ上半期と下半期の「設備投資」の動向をまとめた。11月号では、地方創生の第一期を総括したアンケート調査結果を、4月号では恒例の「海外進出」を取りまとめた。

なお、データ九州は No.1171 をもって冊子の発行を終了し、今後は九州地域経済分析プラットフォーム (DATASALAD/データサラダ) にてデジタルデータとして提供していくことになった。

- |      |                 |                                |
|------|-----------------|--------------------------------|
| 9月号  | データ九州 (No.1168) | 「九州・山口の設備投資 (2019 上半期 1~6 月)」  |
| 11月号 | データ九州 (No.1169) | 「地方創生事業に関するアンケート 集計結果」         |
| 3月号  | データ九州 (No.1170) | 「九州・山口の設備投資 (2019 下半期 7~12 月)」 |

### 3) 2020年版 図説九州経済

九州・沖縄・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2020年版も海外からのお客様のニーズを意識し、図表タイトル等や凡例での英語表記を充実させるほか、九州地域の観光分野でニーズの高い温泉マップを追加した。

『2020年版 図説九州経済』

令和元年10月17日刊行

### 4) メールマガジン (九経調ニュースレター)

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 144件 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

### ③幹事会からの提案による自主研究

「九州におけるリカレント教育のあり方(仮題)」をテーマに、上期は、①教育機関向け、②企業向け、③個人向けの3本のアンケート調査を実施した。下期はアンケート調査結果の分析をもとに、参考となる取組みを行う企業や大学等へのヒアリングを進め、報告書の作成を進めた。

#### ◆『九州におけるリカレント教育のあり方(仮題)』報告書構成(案)

はじめに

第1章 経済社会の変化とリカレントの必要性

第2章 九州におけるリカレントの現状と推進に向けた課題

第3章 リカレント推進に資する先進的な事例

第4章 生涯活躍できる地域・九州の実現に向けて(提言)

### ④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム(DATASALAD/データサラダ)を活用して、月報、データ九州、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信に向けて準備を進めた。月報掲載の主要統計とデータ九州のデータを中心としつつ、主要な景気指標と予測指標を中心に、時系列データとマップの形式で提供を図った。

### ⑤その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行った。



## A. 国内研究会の開催、参加

### 1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和 42 年度より毎年 2 回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。令和元年度は下関と久留米で開催された。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月25日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（下関）	「欧米豪から見た九州の関心度」	片山部長（講演）	15人
12月5日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（久留米）	「地域経済データを活用した新たなデジタル情報サービスについて」	片山部長（講演）	13人

### 加盟機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

### 2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟している。令和元年度は、九州・沖縄ブロック総会の後に開催された研究事例発表会において、当会から九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD / データサラダ）について発表した。今年度は全国の地方シンクタンクを集めての総会、経営者会議が福岡市内で開催され、当会を始めとして九州・沖縄ブロックに加盟する 5 機関が参加した。なお、3月に予定していた九州・沖縄ブロックの若手研究員交流会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック総会・研究事例発表会・交流会（那覇）	「九州地域経済分析プラットフォーム（仮）」	岡野部長（報告者）、田中副部長	14人
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック意見交換会（那覇）	「那覇市観光協会の事業概要と沖縄（那覇市）の観光について」	(一社)那覇市観光協会事務局長 大城弘明氏	16人
7月5日 (金)	地方シンクタンク協議会総会、経営者会議	「産学官での事業創出プラットフォームの取組から」	福岡地域戦略推進協議会事務局長 石丸修平氏	30人
3月 【中止】	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック若手研究員交流会	—	—	—

### 九州・沖縄ブロック加盟機関

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所
(一財) 南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	

## B. 国際会議の開催、参加

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月12日(金)	釜山-福岡の交流拡大に向けたシンポジウム	スポーツの成長産業化と九州経済	高木理事長、加峯部長、大谷次長	40人
2月15日(土)	第14回 福岡・釜山フォーラム、釜山会議 2019 (釜山広域市)	釜山・福岡から日韓の未来を創る	高木理事長、加峯部長	50人

## C. 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月1日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容として、①シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、②地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、③「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携がある。

令和元年度は、東京大学で開催された機構主催の公開シンポジウム「データ駆動型社会における地方創生」において、「地域経済データ基盤「データサラダ」による地方創生への挑戦」と題して当会から報告を行ったほか、当会70周年記念事業の沖縄開催のシンポジウム「アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA」において、機構長の東京大学松原宏先生に基調講演を務めていただくなど連携を深めた。

## D. 在外公館に対する九州経済セミナー

在福の総領事館・領事館等の職員向けに、九州経済の理解促進とPRを兼ねて、九州経済の現状や将来に関するセミナーを開催した。

日程	会議名	内容	当方参加者	参加者数
1月24日(金)	在外公館に向けた九州経済セミナー	九州経済のアウトライン 30年後に向けた九州地域発展戦略	高木理事長、片山部長、加峯部長	15人

### 参加機関

在福岡アメリカ領事館	中華人民共和国駐福岡総領事館	駐福岡大韓民国総領事館
在福岡ベトナム総領事館	在福岡タイ王国総領事館	韓国貿易センター

## (2) 受託研究事業

令和元年度の受託研究は計61本のプロジェクトに取り組んだ。

令和元年度は、平成30年度に続き、地方自治体の総合計画、地方創生総合戦略策定支援の業務が多く、7市の総合計画・総合戦略(及び人口ビジョン)策定支援業務を受託した。また、産業振興の分野では農林水産・食料品分野が多く、“スマート農業”“農林水産物輸出”“農漁村集落の維持”等の調査研究を行った。この他、新型コロナウイルス対策としてビッグデータを用いた来街者数への影響調査も行った。

## 【分野別受託研究一覧】

<b>(統計作成・分析)</b>		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズフック
3	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
4	中小企業の動向分析業務	福岡県
<b>(地方創生)</b>		
5	第2期古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務委託	古賀市
6	「第2次佐賀市総合計画」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し等に向けた調査分析業務	佐賀市
7	にしきまるごと創造プロジェクト運営支援業務	錦町
8	次期総合戦略並びに人口ビジョン策定支援等業務委託	下関市
<b>(地域振興)</b>		
9	九大学研都市中期経営計画策定業務	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
<b>(産業振興)</b>		
<b>① 産業全般</b>		
10	熊本県産業振興ビジョン(仮称)策定基礎調査業務	熊本県
<b>② 電子部品・デバイス関連</b>		
11	アジア半導体機構企画・運営業務	アジア半導体機構
	先進的IoT製品・サービスの調査	福岡県
<b>③ 環境・資源エネルギー</b>		
12	平成31年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の3R事業化促進事業)	(一財)九州産業技術センター
13	熊本県の太陽光発電地域サポート体制構築事業	熊本県
<b>④ 観光</b>		
14	第2期九州観光戦略第3次アクションプラン支援業務	(一社)九州経済連合会
15	持続可能な観光振興に係る方向性検討業務委託	福岡市
16	福岡県、福岡市におけるRWCの経済波及効果測定業務	RWC2019福岡開催推進委員会
17	「産業ガイド」等の改訂作業(仮称)	(公財)福岡観光コンベンションビューロー
<b>⑤ 農林水産・食料品</b>		
18	令和元年度九州SDGs経営推進モデル事業及び食料品製造業の競争力強化による輸出戦略策定調査事業	九州経済産業局
19	新しい日田の森林・林業・木材産業ビジョン改訂	日田市
20	少子高齢化社会における第一次産業の維持発展方策に関する調査研究に係る基礎調査業務	(一財)地方自治研究機構
21	東北活性研の白書執筆支援業務(仮)	(公財)東北活性化研究センター
<b>⑥ 医療・福祉</b>		
22	福岡県ジェネリック医薬品ガイドブック等作成業務	福岡県
23	平成31年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
24	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
<b>⑦ 新産業・新技術</b>		
25	平成31年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)	九州経済産業局

26	宇宙産業リスト作成業務	大分県産業創造機構
<b>⑧ 流通・物流</b>		
27	「沖縄県内物流に関する需給バランスの現状と将来推計」の調査・分析業務	沖縄振興開発金融公庫
28	大分市公設地方卸売市場の整備・運営化に関する基本計画策定業務委託	大分市
29	小売販売額・入込客数調査業務委託	熊本市
<b>(社会資本)</b>		
30	下関港長州出島の産業振興用地売却に係る企業動向分析及び公募要綱策定等支援業務	下関市
31	令和元年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
32	大分駅前新設の広場における経済的効果・評価業務(仮)	大分市
33	行橋市における経済波及効果に関する分析業務 2	㈱日本総合研究所
34	令和元年度生活交通に関する住民意識調査業務	福岡市
<b>(雇用・人材育成等)</b>		
35	公的職業訓練に関するサービスガイドライン設計業務	職業訓練法人福岡地区職業訓練協会
36	平成 31 年度飲食サービス業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務委託	(公社)福岡県雇用対策協会
37	石垣市における人手不足の実態調査及びその対処策の立案等業務	石垣市
<b>(アジア戦略)</b>		
38	中小企業 ODA 案件化調査	中島物産㈱ (JICA)
<b>(行財政)</b>		
39	長崎県の近未来像 (グランドデザイン) 策定に関する業務委託	長崎県
40	直方市総合計画策定支援業務	直方市
41	第 6 次田川市総合計画基本構想策定業務委託	田川市
42	第 2 次唐津市総合計画後期基本計画作成業務	唐津市
43	第 2 次下関市総合計画後期基本計画策定・編纂支援業務	下関市
<b>(その他)</b>		
44	平成 31 年度「九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援事業」	WorkStep㈱ (九州経済産業局)
45	企業誘致・県外 UI ターン (仮)	沖縄県 大阪事務所
46	政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
47	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
<b>(シンポジウム等)</b>		
48	九州経済を考える懇談会の実施	(一財)九州地域産業活性化センター
49	福岡都市圏道路企画調査業務	九州地方整備局 福岡国道事務所

### (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から実施している。助成事業については、4 月 2 日～5 月 31 日の応募期間に 17 本の申請があり、6 月 25 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で 3 本の助成先候補を選定後、理事会にて助成先を決定した。顕彰事業は、7 月 22 日～1 月 31 日に一般論文を募集、助成論文 3 本と合わせて計 4 本の論文が審査対象となり、2 月 21 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で最優秀賞と優秀賞を選定、理事会にて顕彰先を決定した。

### 助成先の審査結果（10万円助成／本）

	テーマ	申請者・研究代表者
1	利用者数が飛躍的に増加した駅前図書館の事業運営とその成立する立地の条件～駅前市街地の賑わい復興のために～	佐倉浩之 九州大学経済学府 産業マネジメント専攻
2	超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益的信託運用組織のあり方についての研究	原口唯 ㈱YOUI 代表取締役
3	企業向け参加型セミナーによる障害者雇用の促進を目指した新たな価値創造	田中美佳 ㈱Togatherland

### 顕彰先の審査結果

顕彰内容	テーマ	研究代表者	備考
【最優秀賞】 副賞:10万円	多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造～発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する～	田中美佳 ㈱Togatherland	10万円 研究助成
【優秀賞】 副賞:記念品	超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益目的的信託運用組織のあり方について	原口唯 ㈱YOUI 代表取締役	10万円 研究助成

### 九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名（敬称略）	所属	役職	備考
1	安浦 寛人	九州大学	理事・副学長	大学
2	松田 美幸	福津市	副市長	公共
3	柴田 建哉	㈱西日本新聞社	社長	民間
4	磯崎 隆郎	㈱日本政策投資銀行	九州支店長	民間
5	高木 直人	（公財）九州経済調査協会	理事長	主催者

### 九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

期間	内容
4月2日（火）～5月31日（金）	研究テーマの募集
6月25日（火）	令和元年度 第1回 九経調地域研究助成・顕彰委員会 助成先を選定（書面理事会で決定）（令和2年1月31日 論文提出締切り）
7月22日（月）～1月31日（金）	論文の一般募集
2月21日（金）	令和元年度 第2回 九経調地域研究助成・顕彰委員会 最優秀賞、優秀賞を選定（3月2日、理事会で決定）
3月9日（月） 【中止】	研究発表会。顕彰論文を表彰、みぞえ賞受賞者による発表 （於：電気ビル共創館 カンファレンス C）

## 3. 講演会・セミナーの開催

当会では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催した。当会主催で開催した講演会・セミナーは70回で、中止や延期となったケースは12回であった。

(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（開催6回、延期6回）

九州経済白書の刊行に際し、関係機関の協力を得ながら令和2年2～3月に九州・沖縄・山口12会場で説明会を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により6カ所で開催を延期とした。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月5日 (水)	FFGホール(福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	藤井次長	189人
北九州	2月27日 (木) 【延期】	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	藤井次長	—
久留米	3月5日 (木) 【延期】	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	藤井次長	—
佐賀	3月3日 (火) 【延期】	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	藤井次長	—
長崎	2月10日 (月)	十八銀行本店	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	片山部長	60人
佐世保	2月20日 (木)	FFG佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	片山部長	20人
熊本	2月18日 (火)	肥後銀行熊本駅前支店	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	藤井次長	48人
大分	3月12日 (木) 【延期】	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	藤井次長	—
宮崎	3月6日 (金) 【延期】	宮崎観光ホテル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	藤井次長	—
鹿児島	2月21日 (金)	鹿児島銀行本店 別館ビル3階	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	片山部長	50人
沖縄	2月14日 (金)	パシフィックホテル沖縄	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	藤井次長	37人
山口	3月12日 (木) 【延期】	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	片山部長	—

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（開催1回）

当会会員との交流を目的に毎年開催しており、令和元年度は12月に福岡で創立70周年記念事業「未来を考えるシンポジウム」と併せて開催した。経済同友会の元代表幹事の長谷川閑史氏による特別講演「持続的経済成長に向けた日本の課題」と併せて、70周年事業で研究してきた「30年後に向けた九州地域発展戦略」を発表した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
12月16日 (月)	日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略 <特別講演> 「持続的経済成長に向けた日本の課題」 <報告> 「30年後に向けた九州地域発展戦略」	<特別講演> 公益社団法人経済同友会 元代表幹事 武田薬品工業株式会社 元相談役 長谷川閑史氏 <報告> 当会 調査研究部長 片山礼二郎	294名

## ②研究報告会（開催1回）

令和元年度は、前年度の幹事会提案に基づいて「Society5.0による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業～」をテーマに研究報告会を開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月24日 (水)	Society5.0による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業～	藤井次長	102人

## ③アジア経済講演会（開催1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。令和元年度は、ベトナム経済をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月9日 (水)	新時代のベトナム経済 ～次なるビジネスチャンスと日越関係～	ジェトロ・アジア経済研究所 東南アジアⅡ研究グループ長 藤田麻衣氏 中島物産(株) 代表取締役社長 中島康宏氏	61人

※ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の三者共催

## ④調査技法セミナー（開催1回、※2日間開催）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。令和元年度は、創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD/データサラダ）に連動するプログラムで開催した。

日 程	内 容	講 師	参加者数
2月3日(月)	DATASALADの紹介・デモ	岡野部長、渡辺研究員	15人
	景気動向指数（CI）による景気動向把握	松嶋主任研究員	15人
	統計利用の効率化～DATASALADの裏側	小柳研究主査	15人
2月4日(火)	データ活用アイデアソン		9人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

### 参加機関

(株)福岡銀行	(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所
(株)NCBリサーチ&コンサルティング	(一財)山口経済研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫

(公財)九州経済調査協会		
--------------	--	--

### ⑤経済講演会（開催1回）

(株)日本総合研究所チェアマン・エメリタスの高橋進氏を招いて、「内外経済の展望と政策課題～地域再生なくして日本再生なし～」をテーマに、(株)ふくおかフィナンシャルグループとの共催にて10月に開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月24日 (木)	内外経済の展望と政策課題～地域再生なくして日本再生なし～	(株)日本総合研究所 チェアマン・エメリタス (名誉理事長) 高橋進氏	177人

### ⑥地域研究顕彰事業研究発表会（中止1回）

助成論文と自由応募論文の執筆者による研究発表と優秀作品に対する顕彰を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした。

日程会場	発表者	参加者数
3月9日 (月) 電気ビル 共創館 カンファ レンス 【中止】	<p>【論文提出者】</p> <p>①「九州・山口の中心市街地活性化に繋がる公立図書館の立地と運営」 佐倉浩之（九州大学経済学府産業マネジメント専攻）</p> <p>① 超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益目的の信託運用組織のあり方について 原口唯（株）YOUI 代表取締役</p> <p>③多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造 ～発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する～ 田中美佳（(一社)Togetherland）</p> <p>④伝統工芸産業支援・振興手法の再構築の可能性について －佐賀県ふるさと納税とNPOによる新たな支援事例より－ 大淵和憲（九州産業大学伝統みらい研究センター）</p> <p>【前年度最優秀賞受賞者】</p> <p>⑤過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究 －八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－ 長谷川繁（八女里山賃貸株）</p>	—

### （3）BIZCOLIでのセミナー・イベント

BIZCOLIでは、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催している。令和元年度は合計59回を実施し、5回を中止または延期とした。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供した。

#### ①イブニングセミナー（開催11回、中止1回）

当会研究員や月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している。上期は、ポスト支店経済や地域研究、空港開発などといった九州のインフラに係るセミナー、下期はビッグデータによる地域経済分析、福岡都市圏の成長力などといった九州の成長戦略に係るセミナーを開催した。



日程	テーマ	講師	参加者数
4月9日(火)	ポスト支店経済	大谷次長、松嶋主任研究員、小柳研究主査	30人
5月14日(火)	九州の地域研究	松嶋主任研究員	18人
6月11日(火)	九州の空港開発	松嶋主任研究員、渡辺研究員	44人
7月9日(火)	カルチャーコンテンツによる地方創生	松嶋主任研究員、渡辺研究員	17人
8月6日(火)	港湾が繋ぐ九州経済	松嶋主任研究員、渡辺研究員	23人
9月9日(月)	太陽光発電の新たなステージ	藤井次長、松嶋主任研究員	46人
10月8日(火)	地方創生事業の成果	松嶋主任研究員、小柳研究主査	31人
11月12日(火)	ビックデータによる地域経済分析	岡野部長兼 BIZCOLI 館長、松嶋主任研究員、小柳研究主査	33人
12月10日(火)	地域ものづくり企業の生産性向上	松嶋主任研究員、渡辺研究員	16人
1月14日(火)	九州の新たな1年	松嶋主任研究員、小柳研究主査、渡辺研究員	44人
2月7日(金)	福岡都市圏の成長力	松嶋主任研究員、渡辺研究員	26人
3月【中止】	地域公共交通と MaaS	松嶋主任研究員、渡辺研究員	—

## ②地域経営セミナー（開催 31 回、中止 2 回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による、経営スキルアップセミナーを開催した。いずれも講師への依頼等で会員企業の協力を得て実現した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月15日(水)	なぜ、あの会社ばかり良い人材が集まるか？	シンワラボ(株) 代表取締役 加藤シゲキ氏	7人
5月22日(水)	第4回未来会計セミナー ～“経営計画（目標設定）”の良否で、業績の全てが決まる～	(株)IG プレーン 代表取締役社長 野口雄介氏	23人
5月24日(金)	わかりやすい！中国越境 EC セミナー ～九州は食品を出品すべき～	(株)ナセバナル 代表取締役 橋谷亮治氏	17人
5月29日(水)	Web サイトで差が出る人材採用現場 ～効果的な自社サイトの活用法～	(株)AliveCast チームマネージャー 伊藤辰彦氏	20人
6月5日(水)	コラボトーク ～日本の離島は最先端！	NPO 法人離島経済新聞社 統括編集長 鯨本あつこ氏	20人
6月14日(金)	ビジネスのための拡張現実 (AR) テクノロジー ～学生を魅了する英語学習プロセスをビジネスに応用する可能性～	九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師 アダム・ストーン氏 九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師 サミュエル・テイラー氏	36人
6月25日(火)	モビリティサービスとまちづくりの今	一般社団法人 EMoBIA 代表理事 浦正勝氏	42人
7月3日(水)	外国人技能実習制度及び特定技能 VISA におけるリスクマネジメントセミナー ～内在するリスクとその対処～	UT グローバル(株) 代表取締役 磯部将樹氏	26人
7月4日(木)	幸せな着ぐるみ工場 ～あたたかいキャラクターを生み続ける女子力の現場～	KIGURUMI.BIZ(株) 代表取締役 加納ひろみ氏	39人
7月9日	Fukuoka WooCommerce Meetup with	PayPal Pte.Ltd.東京支店	13人

(火)	PayPal & Snow Monkey	Channel Partner Manager 田坂佳子氏 WooCommerce コアコントリビューター 田中昌平氏 フリーランス WordPress テーマ プラグインデベロッパー キタジマタカシ氏	
7月16日 (火)	中国経済と米中関係の行方	日本国際問題研究所 客員研究員 津上俊哉氏	36人
7月31日 (水)	ジチタイワークス	(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター 九州グループマネージャー 小野郁氏 (株)コロブラ インキュベーション本部 おでかけ研究所 事業部長 酒井幸輝氏	34人
8月20日 (火)	職場でも家庭でも使えるアンガーマネジメント	マルプロ 代表 丸山啓太氏	39人
8月27日 (火)	貴重な資源「日本の森」を守るため新しいことに挑む林業経営！	田島山業(株) 代表取締役 田島信太郎氏	32人
9月5日 (木)	持続可能な開発 SDGs と利益の創造と社会への貢献を同時に実現していくためのノウハウ	(株)テーブルクロス 代表取締役 CEO 城宝薫氏	37人
9月17日 (火)	第5回未来会計セミナー ～原価計算をとりいれよう！	IG 会計グループ (株)IG ブレーン 未来会計コンサル 寺下祐介氏	18人
9月20日 (金)	第3弾 わかりやすい！中国越境 EC セミナー中国ネット通販最大の商戦日 独身の日に迫る！ ～中国越境 EC の専門家 橋谷氏が語る リアルな現地情報とその実態	(株)ナセバナル 代表取締役 橋谷亮治氏	7人
10月11日 (金)	第6回未来会計セミナー ～中小建設業の利益改善モデル	(株)IG ブレーン 代表取締役社長 野口雄介氏	10人
10月15日 (火)	地方創生の実現に求められる地域人材“志民”の育成	(一財)日本経済研究所 常務理事 地域未来研究センター長 兼 調査局長 東洋大学大学院 経済学研究科 客員教授 大西達也氏 副都心黒崎開発推進会議 幹事長 池本綾女氏	35人
10月29日 (火)	DESIGN × BUSINESS デザインとビジネス	タカスガクデザイン アンド アソシエイツ (株) 代表取締役 高須学氏	45人
10月30日 (水)	事例で学ぶ！働き方改革セミナー	(株)L is B 代表取締役/CEO 横井太輔氏	12人
11月19日 (火)	大人のこだわり文房具 ～日本初!!のノート専門店ができるまで～	プレイズストア オーナー 高山啓太氏	30人
11月25日 (月)	第1回グローバル人材育成セミナー ～新たな英語研究スタイル“オンライン英会話”	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 池川穰司氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー 蒲池琴美氏 西部ガス(株) 人事労政部 人財活性化推進グループ 小川周太郎氏	14人
11月27日 (水)	第7回未来会計セミナー ～資金繰り完全マスター (再)	(株)IG ブレーン 未来会計コンサル 寺下祐介氏	14人
11月27日 (水)	幸福な職場づくり&働き方改革に効く！ ～【不の解消マネジメント】カード体験～	特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会 代表理事 白井旬氏	16人
12月17日	IT戦略の作り方、磨き方	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ	27人

(火)		(株) アソシエイト・ディレクター 望月秀明氏	
12月19日 (木)	地域産業のイノベーションシステム	中央大学経済学部教授/学部長 山崎朗氏	33人
12月20日 (金)	第8回未来会計セミナー ～ビジネスモデルの作り方～	(株)IG ブレーン 代表取締役社長 野口雄介氏	16人
12月24日 (火)	第2回グローバル人材育成セミナー ～九州のグローバルソリューション～少し 先の未来～	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 池川穰司氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー 蒲池琴美氏 (株)九電ビジネスフロント 取締役 KYUDEN GLOBAL 事業本部長 橋本良幸氏	11人
1月22日 (水)	採用サイトで応募数7倍 ～効果的な自社サイトの活用法～	(株)AliveCast チームマネージャー 伊藤辰彦氏	10人
2月18日 (火)	よなよなエール流 ファンマーケティング 戦略～チームとビールのつくりかた～	(株)ヤッホーブルーイング よなよなビール広め隊 (広報) ユニットディレクター 原謙太郎氏	47人
3月3日 (火) 【中止】	第3回グローバル人材育成セミナー ～TECH 業界のグローバル化～ベトナムで 活躍する日本人～	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 池川穰司氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー 蒲池琴美氏 (株)パソナテック アシスタントマネージャー 中野弘基氏 Asian Tech Co., Ltd. プロジェクトマネージャー/ビジネスアナ リスト 久保利彦氏	—
3月6日 (金) 【中止】	専門図書館協議会 九州地区研修会& BIZCOLI コラボセミナー ウィキペディアで学ぶ情報リテラシー～今 さら聞けない、ウィキペディアとは～	ウィキペディア日本語版 元管理者 海瀬氏	—

### ③九州国立博物館応援セミナー（開催4回）

九州国立博物館の特別展の開催にあわせて4回開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月16日 (木)	京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ	九州国立博物館 展示課長 楠井隆志氏	35人
8月9日 (金)	室町将軍～戦乱と美の足利十五代～	九州国立博物館 展示課 主任研究員 一瀬智氏	30人
10月18日 (金)	三国志	九州国立博物館 企画課主任研究員 川村佳男氏	31人
2月21日 (金)	フランス絵画の精華	九州国立博物館 特任研究員 基信祐爾氏	24人

### ④サイエンス・カフェ（開催9回、中止1回）

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催する科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、数学や再生可能エネルギー、宇宙線、プラズマ、伝統建築などをテーマとして取り上げ、9回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月19日 (金)	数学的に美しい？	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 富安亮子氏	39人
5月17日 (金)	線香花火の不思議に迫る！	九州大学大学院工学研究院 航空宇宙工学部門 准教授 井上智博氏	36人
6月28日 (金)	再生可能エネルギー量を上げろ！	九州大学大学院工学研究院 機械工学部門助教 立川雄也氏	35人
8月2日 (金)	透視はもはや超能力ではない！？	九州大学大学院総合理工学研究院 エネルギー科学部門 准教授 金政浩氏	32人
9月6日 (金)	光の可能性に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー 国際研究所 准教授 高橋幸奈氏	39人
10月25日 (金)	プラズマプロセス技術に迫る！	九州大学大学院システム情報科学研究員 助教 鎌滝晋礼氏	28人
11月22日 (金)	つぶつぶの物理に迫る！	九州大学大学院理学研究院物理学部門 准教授 稲垣紫緒氏	25人
12月13日 (金)	宇宙の謎にみんなで迫る！	高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教 上野一樹氏 高エネルギー加速器研究機構 広報室 科学コミュニケーター 高橋奨太氏	25人
1月24日 (金)	ニマラタンの謎に迫る！	京都大学防災研究所気象水象災害研究部門 准教授 西嶋一欽氏	22人
3月13日 (金) 【中止】	ブラックホールの謎に迫る！	九州大学大学院理学研究院物理学部門 助教 町田真美氏	—

#### ⑤BIZCOLI 倶楽部 （開催 2 回）

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数セミナーとして平成 27 年度に開始した。令和元年度は、令和ゆかりの地である太宰府をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月10日(火)	令和と万葉集、そして太宰府	奈良大学 教授 上野誠氏	9人
1月21日(火)	太宰府学事始め	太宰府天満宮 権宮司 味酒安則氏	10人

#### ⑥文化アートイベント（開催 1 回）

文化セミナーはアートと地域づくりに関するテーマで開催している。今回は「博多の仙厓さん」として武士や庶民に慕われた仙厓義梵をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月12日(木)	仙厓さんの禅画で笑おう	福岡市美術館 館長 中山喜一朗氏	25人

#### ⑦ビッグデータセミナー（開催1回、延期1回）

AIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催しており、先進的な活用事例や、データストアとしてのクラウド基盤、BIツールなどを用いた可視化・活用技術など実践的な内容の情報提供を行なっている。令和元年度は、地理情報の活用をテーマに1回開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月18日(木)	地図による可視化と位置情報活用	小柳研究主査	18人
2月25日(火) 【延期】	Twitterデータによる空間分析	渡辺研究員	—

#### 4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLIは、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

##### （1）地域経済図書館としてのサービス

###### 1）BIZCOLIの利用状況

令和元年度の利用者数は、年間ではじめて2万人の大台を超え、20,544人となった。前年度を2,083人上回り、対前年度比11%増となっている。知名度の向上やセミナー等の定期開催、広報にも努めたため、利用者数は着実に増加している。なお、年度末には、新型コロナウイルスの影響で、2月の利用者が大きく減少したものの、各種の安全対策に努め、安心してご利用いただけるとの信任を得たことと、リモートワーク推進の場としての活用が進んだことから、3月の利用者は対前年を上回った。

##### BIZCOLI利用者数

年度	利用者数	年度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成28年度	16,984人
平成25年度	12,238人	平成29年度	16,743人
平成26年度	13,479人	平成30年度	18,461人
平成27年度	15,486人	令和元年度	20,544人

## 2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。令和元年度は 27 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

### ①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

### ②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
田島山業(株)	同社PR映像の上映
日本航空(株)	エアバス A350 ファーストクラス・シート展示
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示
(株)ヤッホーブルーイング	同社商品と経営セミナー資料、星野リゾートの関連書籍の展示
国連 WFP 協会	レッドカップキャンペーン関連資料の展示 (SDG s)

## (2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI ではミーティングルームの提供を行っている。令和元年度は 232 件の利用があり、収益額は対前年比マイナス 8%の 202 万 3 千円だった。1 月までは順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響で 2 月と 3 月が伸び悩んだ。

### (3) スキルアップのための個室空間の提供

BIZCOLI では、ビジネスに関する企画や自己研鑽のために更に集中できる空間として、マイデスクゾーン（個室）を提供している。令和元年度は、延べ 2,881 時間の利用があり、収益額は対前年度比 13%増の 28 万 8 千円だった。

## 5. 経済団体等支援事業

### (1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 505名（3月末現在）

#### 令和元年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常総会、正副代表幹事会、常任幹事会、幹事会の開催</li> <li>・ 例会の開催</li> <li>・ 筑豊地域委員会での意見書の発表、提出</li> <li>・ 県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催</li> <li>・ その他、11委員会において講演会、視察会等を開催</li> <li>・ 全国経済同友会への参加</li> </ul>
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表幹事会</li> <li>・ 企画委員会</li> <li>・ 会員合同懇談会</li> <li>・ 九州はひとつ委員会</li> <li>・ 九州地域戦略会議、同幹事会への参加</li> <li>・ 九州経済を考える懇談会</li> <li>・ 西日本経済同友会 代表者会議に参加</li> </ul>

\* 上記を含む総会合数 146 回（うち共催・後援 25 回）。新型コロナウイルスによる中止 17 回

### (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論するものである。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始され、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。令和元年度は次の通り 3 回開催した。

#### 令和元年度の主な活動

No	日時・場所	討議テーマ	参加者
第 1 回	10 月 2 日 (水) 当会会議室	1) 九州における人口減少・少子化対策のあり方、提言実践としての「出会い場づくり」について 2) 「福岡空港の取組み」について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第 2 回	1 月 30 日 (木)	1) 「九州プロモーションセンター in ハノイの設立」について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏

	当代会議室	2) 「外国人労働者の受入れ状況と対策」について	九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第3回	3月6日 (金) 九経連 会議室	1) 「食産業の振興」について 2) 「30年後に向けた九州地域発展戦略」について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

### (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」(理事長：安浦寛人 九州大学 理事・副学長)は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

令和元年度は61名(受講生35名、聴講生26名)が受講した。9月末までに11回の授業を実施し、11月には研究発表会を開催した。

#### 令和元年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏名(敬称略)	所属
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
村岡 浩司	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
星野 幸代	国際連合人間居住計画(ハビタット)福岡本部 本部長補佐官
原口 悠	特定非営利活動法人ドットファイブトーキョー 代表理事
木藤 亮太	(株)油津応援団 専務取締役/(株)ホーホウ 代表取締役
天野 宏欣	Local Knowledge Platform 合同会社 代表社員
麻生 泰	(一社)九州経済連合会 会長

## 6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末に掲載している。



## 対外活動実績（令和元年度）

区 分	内 容	件数等
（１）行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	<b>【行政】</b> 九州経済産業局、九州管区行政評価局、福岡県、福岡県立図書館、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、久留米市、行橋市、糸島市  <b>【団体】</b> （一財）九州産業技術センター、（公財）福岡アジア都市研究所、（公財）日本生産性本部、（独法）経済産業研究所、九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター、（公財）福岡県産業・科学技術振興財団、（公財）経営者顕彰財団、福岡アジア高齢社会デザイン協議会、九州版炭素マイレージ制度推進協議会  <b>【民間・大学】</b> 福岡大学、九州電力㈱、㈱福岡放送	就任件数 計 26 件
（２）大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、西南学院大学 * 1 コマの派遣は含まず	計 3 大学 3 講座
（３）テレビ・ラジオ等への出演	NHK 福岡「ロクいち！福岡」、NHK 熊本、KBC「シリタカ!」、RKB「今日感テレビ」、FBS「めんたい Plus」、TNC「もち浜ストア」、「もち浜 S 特報ライブ」、「CUBE」、TVQ「ぐっ！ジョブ」、「ふくおかサテライト」、南海放送（愛媛県）	延 34 回
（４）新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、建設通信新聞、鹿児島建設新聞、琉球新報、沖縄八重山日報、八重山毎日新聞、糸島新聞、日本食糧新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日刊建設工業新聞、商業施設新聞、日本海事新聞、電子デバイス産業新聞、ビジネスレイバートレンド、週刊金融財政事情、フクリパ、ニッキン、日経 MJ、ディスクロージャー	延 202 件

## 7. 運営基盤の拡充

### （１）会員数の増加

#### ①賛助会員

BIZCOLI や研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。令和元年度の入会は前年度 38 件を下回る 30 件であった。また、退会は 33 件となり、期首 593 会員から 3 会員純減して 590 会員となった。1 月末から年度末にかけて、新型コロナウイルスの影響で、新規の入会交渉と、退会申出企業に対する継続交渉を行いにくい状況になったことが響いた。

なお、会員数は減少したものの、普通会员から維持会員への変更等により、会費実勢額は前年度を上回る 1 億 2,796 万円となった。

## 賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会员	個人会員	町村会員	
令和元年度期首	593	74	499	18	2
入 会	30	0	30	0	0
退 会	33	0	32	1	0
増 減	-3	0	-2	-1	0
会員種別変更	1	1	-1	0	0
令和元年度末	590	75	496	17	2

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員 ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員 ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・平成 29 年度末 会員数 581 会員 ・会費実勢額 1 億 2,625 万円
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員 ・会費実勢額 1 億 2,791 万円
- ・令和元年度末 会員数 590 会員 ・会費実勢額 1 億 2,796 万円

## ②BIZCOLI 会員

令和元年度は、期首 99 会員から 2 会員純増して 101 会員となった。会費実勢額（月会費×12 カ月）は、令和元年度末で 754 万円となった。

### BIZCOLI 会員の内訳（101 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	4	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	13	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	51	ナイトタイム+土曜日	16
土曜日	10	合 計	101

## （2）理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催

公益財団法人に移行して 7 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や参与会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。

令和元年度は理事会を 6 回、評議員会を 3 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回開催した。幹事会提案による自主研究報告会「Society5.0 による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業」を 7 月に開催した。参与会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期とした。

## ①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 15 日 (水)	第 31 回理事会	<b>【決議事項】</b> 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 30 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 参与の委嘱について

		第5号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他
5月31日 (金)	第32回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 代表理事・会長の選定について 第2号議案 代表理事・理事長の選定について 第3号議案 業務執行理事の選定について 第4号議案 役員報酬について 第5号議案 幹事の選任について
7月22日 (月)	第33回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
10月18日 (金)	第34回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和元年度更正予算(案)について 第2号議案 幹事の選任について 第3号議案 参与の委嘱について 第4号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 令和元年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
1月24日 (金)	第35回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 参与の委嘱について
3月2日 (月)	第36回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和2年度事業計画(案)について 第2号議案 令和2年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 顧問、参与の委嘱について 第5号議案 評議員会の招集について 第6号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業顕彰作品の選定について 【報告事項】 第1項 創立70周年記念事業の進捗について 第2項 その他

## ②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
5月31日 (金)	第22回評議員会	【決議事項】 第1号議案 平成30年度事業報告(案)について 第2号議案 平成30年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 第4号議案 評議員会議長の選任について 第5号議案 理事の選任について 【報告事項】 第1項 その他
11月11日 (月)	第23回評議員会	【報告事項】 第1項 令和元年度上期事業報告について

		第2項 令和元年度更正予算について 第3項 幹事の選任について 第4項 参与の委嘱について 第5項 幹事会の開催について 第6項 企画委員会の開催について 第7項 その他
3月17日 (火)	第24回評議員会 (書面)	<b>【報告事項】</b> 第1項 令和2年度事業計画について 第2項 令和2年度予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について 第5項 創立70周年記念事業の進捗について 第6項 その他

### ③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
6月21日 (金)	第10回幹事会 (書面)	1 幹事会議長、副議長の選任について
2月13日 (木)	第11回幹事会	1 新幹事の紹介 2 令和元年度幹事会からの提案による自主研究の中間報告 3 令和2年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 その他

### ④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月13日 (金)	企画委員会	1 令和元年度自主研究の中間報告 2 令和2年度自主研究について 3 その他

### ⑤参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議案等
3月4日 (水) 【延期】	第10回参与会	1 2020年版九州経済白書について 2 その他

### (3) 人材育成の強化

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

令和元年度は、前年度に続いて新卒社員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れた。㈱日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加や、産業技術に関する知見の涵養、人脈構築、中国事情の情報収集のため、中国で開催された第18回環黄海経済・技術交流会議へ派遣した。

(参考)

## 1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 58 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した。

### 講師派遣一覧

月 日	依頼先	会合名・タイトル等	講演者	参加者数
4月16日 (火)	(株)サワライズ	社内研修会「九州の経済動向及び福岡市情勢について」	小柳研究主査	15人
4月17日 (水)	一八会・さかえ会	一八会・さかえ会「今後の日本・九州経済」	小柳研究主査	40人
4月18日 (木)	三菱電機(株)九州支社	経営方針説明会「九州経済の短・中期見通し」	小柳研究主査	65人
4月18日 (木)	(一社)太陽光発電協会	公共産業部会「九州における太陽光発電所 O&M とセカンダリマーケットの関係」	藤井次長	80人
5月10日 (金)	(公社)日本証券アナリスト協会	日本証券アナリスト協会 例会	片山部長	20人
5月14日 (火)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	55人
5月20日 (月)	(公財)福岡観光コンベンションビューロー	在日フランス商工会議所フランス・福岡(九州)経済フォーラム	大谷次長	80人
5月23日 (木)	北海道新幹線建設促進期成会	第4回北海道新幹線札幌開業を見据えた研究会「人口減少下での新幹線開業とまちづくり・地域交通」	大谷次長	30人
5月29日 (水)	福岡ロータリークラブ	福岡ロータリークラブ例会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	90人
5月31日 (金)	福岡県高等学校地理研究会	福岡県高等学校地理研究会 福岡地区総会	渡辺研究員	22人
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会	九州地区交流会「地方創生と EBPM に寄与するビッグデータ時代の新たな情報サービスづくりへの挑戦」	岡野部長	13人
6月22日 (土)	日本観光研究学会	九州・韓国南部支部 研究会「九州における訪日外国人の消費動向調査」/「欧米豪をターゲットとした九州観光関心度等の基礎調査」	島田主任研究員、竹下研究員	30人
7月4日 (木)	福岡市	日本海側航路シンポジウム in 福岡「博多・敦賀航路の PR」	岡野部長	250人
7月13日 (土)	長崎大学工学研究院	社会人向け先端 IT 特別講座「ビッグデータ活用ビジネスと九経調ー長崎大学共同研究の内容」	片山部長	50人
7月13日 (土)	九州女子大学	図書館司書希望者への BIZCOLI 案内	岡野部長	24人
7月24日 (水)	三井物産アグロビジネス(株)	第28回九州三井アグロ会講演会 二部「九州スマート農業の未来」	中川主任研究員	50人
7月24日 (水)	(株)福岡リアルティ	福岡市の商業、インバウンド、ホテルを取り巻く環境について	片山部長	60人
7月25日 (木)	福岡県	九州・山口各県合同職員研修会「地域課題解決に向けた IoT 技術の活用について～IoT によるビジネス展開と地域活性化～」	岡野部長	50人
7月26日 (金)	北恵(株)	キタケイビルダーズフェア「地方中核都市の創生と再構築」	岡野部長	100人
7月31日 (水)	(一社)九州経済連合会	東九州軸推進機構第29回総会「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」	藤井次長	170人
8月3日	長崎県佐々町	BIZCOLI 視察「人がつながる、アイデアが生まれ	岡野部長	12人

(土)		る会員制ライブラリー-BIZCOLI の挑戦		
8月7日 (水)	福岡県	九州地域戦略会議第16回夏季セミナー第1分科会「新たな外国人材の受入れに係る現状と課題」	大谷次長	40人
8月8日 (木)	九州大学学術研究都市推進機構	伊都キャンパス農場フォーラム「オンキャンパス農場と地域社会との連携を考える」	岡野部長	270人
8月8日 (木)	NECソリューションイノベータ㈱	共創推進 Day アイデアソン「九州経済の現状と課題」	岡野部長	60人
8月24日 (土)	日本経営診断学会九州部会	日本経営診断学会九州部会「九州地域における外国人労働者の動向」	大谷次長	15人
9月12日 (木)	エア・ウォーター・マテリアル㈱	インテグリス製品勉強会「九州の景気と半導体関連の動向」	小柳研究主査	23人
9月18日 (水)	九州地方整備局	福岡都市圏の未来の交通インフラを考えるシンポジウム	岡野部長	581人
9月25日 (水)	九州経済産業局	九州地域再生可能エネルギー連絡会議「求められる太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットの成熟」	藤井次長	50人
10月15日 (火)	全九州リネンサプライ協議会	勉強会	小柳研究主査	80人
10月18日 (金)	福岡東南ロータリークラブ	福岡東南ロータリークラブ例会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	50人
10月21日 (月)	福岡大学	ベンチャー企業論	藤井次長	50人
11月7日 (木)	九州運輸局	地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム in 九州	大谷次長	200人
11月12日 (火)	福岡県、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター	データ分析・活用による政策立案(EBPM)推進事業「人口減少社会を迎える2040年の九州を考える」	片山部長	100人
11月14日 (木)	専門図書館協議会	図書館総合展「あなたも使える専門図書館～BIZCOLI」	平田次長	90人
11月16日 (土)	九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会	九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会研修会	片山部長	270人
11月21日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会	小柳研究主査	50人
11月21日 (木)	福岡県みやこ町	みやこ町企業連絡協議会「Society5.0による地方創生」	藤井次長	30人
11月22日 (金)	(公財)福岡アジア都市研究所	URC都市セミナー「都市のアップデート戦略～クリエイティブな都市へ向けて」	岡野部長	99人
11月26日 (火)	三菱電機㈱九州支社	三菱電機グループセミナー2019in長崎 感謝の集い	小柳研究主査	60人
11月29日 (金)	北九州市立大学	環境都市論	松嶋主任研究員	80人
12月3日 (火)	気象庁	気象ビジネスコンソーシアム	松嶋主任研究員	60人
12月5日 (木)	(一社)九州経済連合会	第1回資源エネルギー・環境委員会	藤井次長	68人
12月11日 (水)	(公財)長崎県産業振興財団	第128回エコ塾in長崎 脱炭素社会実現に向けた環境エネルギービジネスと九州の未来	藤井次長	80人
12月26日 (木)	(一社)九州経済連合会	事務局員勉強会	小柳研究主査	50人
1月20日 (月)	九州地方整備局	国土と地域の将来像に関する有識者セミナー	岡野部長	40人
1月20日 (月)	㈱福岡銀行	九州の経済動向について	片山部長	50人
1月21日 (火)	福岡県警察本部	地方IoTビジネス創出事業 福岡県IoT推進ラボ「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	85人
1月22日	福岡ロータリークラブ	直近の経済動向と2020年度九州経済見通し	岡野部長	100人

(水)				人
1月23日 (木)	嘉麻福友会	セミナー・新年会「2020年度九州経済の見通し」	小柳研究主査	25人
1月27日 (月)	福岡銀行/西鉄/西日本新聞	朝ラボ「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	14人
1月29日 (水)	(一社)九州経済連合会	女性の会「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	10人
1月29日 (水)	専修大学	研究会「九州経済の概況について」	島田主任研究員	15人
1月31日 (金)	九州各県議会議長会(大分県議会事務局)	九州各県議会議員交流セミナー「スポーツの成長産業化と九州創生」	大谷次長	150人
2月6日 (木)	(株)福岡リアルティ	福岡・九州経済における韓国人観光客減少の影響	片山部長	60人
2月6日 (木)	伊万里市	アジアとともに成長する九州の経済と産業	岡野部長	50人
2月12日 (水)	東京大学地域未来社会連携研究機構	九州地域経済分析プラットフォーム(DATASALAD)による地方創生への挑戦	岡野部長	60人
2月12日 (水)	(株)佐賀銀行	2020年度九州経済見通し	松嶋主任研究員	50人
2月21日 (金)	(株)九州経済研究所	K-Biz セミナー「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	8人

## 2. セミナー等への参加・企画協力(計9件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

### 協力実績

日程・場所	主催者	会合名	備考
4月6日(土) 電気ビル共創館	国連経済社会理事会特別諮問非政府機関 アライアンス・フォーラム財団	原文人氏提唱・公益資本主義についての勉強会	後援
6月1日(土) ～3月14日(土)	SDGs Design International Awards 2019	九州大学大学院芸術工学研究院 SDGs デザインユニット、九州大学未来デザイン学センター	後援
6月2日(日) The Company 中洲川端	福岡地域戦略推進協議会 (株)chaintope	地方創生トークンサミット 2019	後援
6月17日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第143回ベンチャープラザ二月会	後援
8月1日(木) 福岡アジア美術館	(公財)福岡アジア都市研究所	変貌する中国の大都市～上海市・広州市の最新情報を中心にレポート～	後援
8月7日(水) 福岡サンパレス	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)	ふくおか CASE カーエレ開発アライアンス発足記念講演会	後援
8月8日(木) 九州大学伊都キャンパス	九州大学大学院農学研究院、アグリコロボいとしま、(公財)九州大学学術研究都市推進機構	伊都キャンパス農場フォーラム～地域・アジアに開かれた未来志向のオンキャンパス農場を共創する	後援
10月31日(木) アクロス福岡	九州経済産業局	九州SDGs経営推進セミナー～SDGsを原動力とした企業経営・自治体経営～	運営支援
1月21日(火) 北九州国際会議場 1月22日(水) 安川電機本社	九州経済産業局、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構、(一社)日本ロボット工業会 FA・ロボットシステムインテグレーション協会、(株)安川電機	ロボット活用・導入実践フォーラム「九州SIerDAYS」	後援